

## 団体名

# NPO法人ライフサポートアゴラ

見守り活動のタイトル：

## ひとり親世帯の子ども達の食を地域連携で支える事業

キャッチコピー

### つながりで子ども達を見守る

代表 相原 輝久

住所 愛媛県松山市正円寺3-5-44-2

連絡先 agora728@yahoo.co.jp

ウェブサイト：<https://www.lifesupportagora.com/blank>

団体活動開始：2014年4月～

## 見守り活動の概要

### 子ども食堂、食料宅食、フードパントリーによる食糧支援

- 毎月1回、福祉センターで子ども食堂の実施し、参加する子どもたちの様子確認や友達作りをサポートする。
- 定期的に松山市商工会議所、ファミリーマート、コープ、市内学校生徒会などからのフードドライブで回収した食品をパントリーで配布。
- 子ども食堂に参加できないひとり親世帯や生活困窮世帯については、毎月2回食材宅食を実施し、最近の生活の様子の聞き取りを行う。

## 見守りエピソード/ストーリー

- コロナ禍により地域とのつながりや子ども同士のつながりが薄れていく中で、子ども食堂（福祉センター・児童館併設）に来た子どもたちは一緒に遊び、新しい友達を作っています。学校が違って、年齢が違って一緒に遊べる「場所」「モノ」「コト」があれば、参加当初は俯きがちだった子が楽しそうに駆け回り、目をキラキラさせて翌月の子ども食堂を楽しみにしています。
- 食材宅配の食材を渡すとき、5分ぐらいお母さんたちとお話しする時間が取れます。普段困っていること（失業、金銭、育児）やこれからやりたいこと（就職）などについてお話を聞くことが出来るため、行政の対応窓口を紹介したり、相談できるNPOを紹介しています。

## 活動写真



## 見守り活動のポイント

<子ども>

- 人とつながることでコミュニケーション能力向上や、一緒に何かすることに楽しみを感じてもらう
- 小学生と高校生が友達になることで、大人には言えない悩みを相談できる

<大人>

- 多くの食糧支援機会を作ることで、信頼を得て相談窓口になる

## 見守り活動をはじめた背景

### 【当事者として】

#### NPO法人設立（2014年4月）

- 娘ひとり育てるシングルファザーとして数人のシングルマザーさんと、同じ立場の人たちの力になりたいと団体を立ち上げた。  
⇒当初は要望が多かった学習支援と生活相談を目的に活動開始。

#### 子ども食堂開始(2021年6月)

- 2021年4月頃から「コロナ禍で仕事がなくなった。」「収入が減った」というシングルマザーさんからの相談が急増。特に多かった食糧支援（子ども食堂での飲食提供）を実施。

#### フードドライブ&フードパントリー開始(2021年10月)

- 子ども食堂利用者の多くから、経済的に困っている旨の相談を受けたため、子ども食堂で同時にフードパントリーを実施して、持ち帰ってもらう食材を用意しようと松山商工会議所様に声掛けしたところ、食品ロス削減の活動開始のタイミングと重なったため連携事業として実施することに。

#### 食材宅配開始(2022年3月)

- 子ども食堂に参加したいが遠方で交通手段がない方、仕事の都合で時間が合わない方からの相談が増えたことがきっかけとなり、ひとり親世帯もしくは生活困窮世帯の食材宅配を開始。

## 対象／頻度／内容

### （１）子ども食堂事業

- 対象者：ひとり親世帯・生活困窮世帯
- 対象世帯：17世帯程度（年間720食程度）
- 場所：畑寺福祉センター（愛媛県松山市畑寺）
- 頻度：毎月1回（第3土曜日 10～13時）
- 内容：地域のボランティア、高校生ボランティアと一緒に弁当を作り利用者に提供。  
10時～12時 高校生による学習支援、遊び（同一施設内に児童館があるため）  
12時～13時 お弁当配布・フードパントリー（コロナの状況により会食に変更）

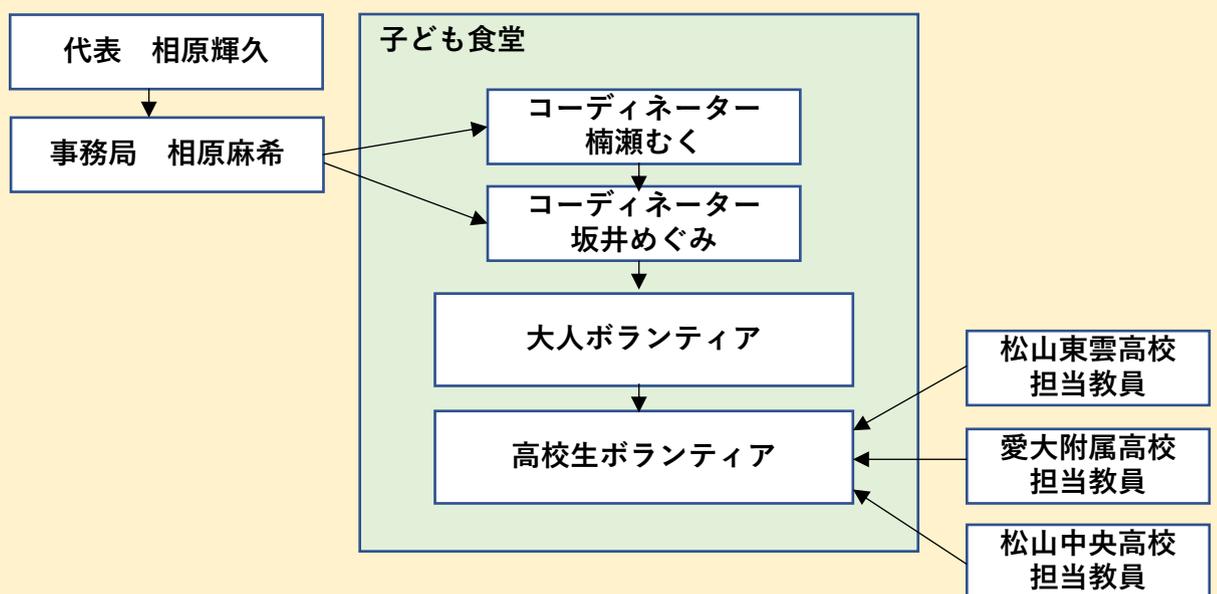
### （２）食材宅配

- 対象者：ひとり親世帯・生活困窮世帯
- 対象世帯：15世帯程度
- 場所：利用者の自宅または近隣施設の駐車場
- 頻度：毎月2回（第2、第4土曜日）
- 内容：5,000円程度の食材（お米、水、野菜、お菓子等）を購入し、利用者の希望する場所まで宅配。その際、現状や困っていることなどを聞き対応可能な行政窓口やNPOを紹介する。

## 見守り活動において抱えている課題

- 最も大きな課題として資金面が挙げられます。定期的な事業資金をどのように準備するかにより継続可能かどうかを判断する必要があります。
- 対応可能な窓口を紹介しても、本人が相談に行かなければただ話を聞いて終わりのため対応窓口とつなぐことや、可能な範囲で情報連携も必要です。
- 現在行っていることは、生活の根本を改善するには至らないため、就職などの斡旋をしてくださる業者、もしくは「スキルアップ→仕事につながる（就業の際の付加価値アップもしくはフリーランス）」事業を企画することも視野に入れる必要があると考えています。

## 見守り活動を行う組織体制図



## 他団体との連携

### 【自治体】

- 愛媛県
  - ・愛媛県産食材の提供（真鯛、お米）
- 松山市子育て支援課
  - ・子ども食堂情報の情報発信、市HP→市民へ
  - ・子ども食堂用補助金、提供食数に応じて補助金を支給
  - ・名義後援により畑寺福祉センターの優先予約、無償利用
- 松山市環境モデル都市推進課
  - ・企業からの食糧寄附の際のご紹介

### 【松山市社会福祉事業団】

- ・福祉センターの予約取り
- ・児童館でのチラシ設置

### 【松山商工会議所】

- ・年間4回のフードドライブ 会員企業6000社に声掛けし、年間2トンの食材提供

### 【企業】

- ファミリーマート
  - ・松山市内3か所のファミリーマートにフードドライブBOXを設置
  - 年間200キロの寄付回収（お菓子中心）
- コープえひめ
  - ・店内にフードドライブBOXを設置
  - 年間100キロを寄附回収（お米・飲料・調味料・お菓子）